

全日本バレーボール高等学校選手権大会 愛知県予選会

男子優勝チーム 星城高等学校



竹内裕幸監督のコメント

決勝を振り返って今の気持ちを聞かせてください。

名電高校の出来がよく、うちの選手の準備不足でかなり苦戦はしましたが勝ってよかったです。

昨年のチームから違いは何でしょうか？

今年の子達はサイズ感が去年とは違って小さいのですが、我慢強くしっかりと基礎基本を大事に、ディフェンスからの切り返しにテーマをおいて練習してきているので、底力があります。

勝敗を分けたのはどの辺りだと思われますか？

3年生同士が我慢比べで頑張っている中、お互いにスタミナが切れてしまうという状況でしたが、後から出た下級生がいいプレーをしてくれたことが勝敗を分けたと思います。

全国大会へ向けてどのようにコンディションを整えますか？

練習はしっかりしていきたいし、下級生も伸びているので競争もさせたいです。春の高校バレーは、高校生のスポーツの中でかなり子供たちの心が揺れる大会でもあります。チームでのコントロールでは限界があるので、本人たちが日常生活からコンディションを整え、自分の調子を感じながら練習することを考えさせたいです。

全国大会への意気込みを聞かせてください。

多くの方に応援されて、若いスタッフが揃い、高校生のいきいきしたプレーを僕も楽しみに東京に向かいます。みなさんの応援に応えられるような魅力的なチームに作り上げていきます。

奥野真邦主将のコメント

決勝を振り返って今の気持ちを聞かせてください。

今日の試合は自分たちのパフォーマンスが思うようにでせず1・2セット目は苦しい展開が続きましたが、絶対に春高に行きたいという3年生の想いを存分に表現できたので今日は勝つことができました。

春高とはどんな大会ですか？

自分たちは1年生の時に春高バレーのコートを経験させていただきました。3年生にとっては最後の大会なので、しっかり結果を残し仲間と1秒でも長くバレーボールができるように強いチームを作って取り組みたいと思います。

全国大会までに取り組みたいことはありますか？

プレッシャーのかかる場面でいつものプレーができないところが自分たちの弱みだと思います。これまで全国大会でもたくさんの試合をしてきましたが、自分たちの思うようなプレーがなかなかできずに終わってしまうことが多かったです。春高バレーに向けて短い時間ですが、常に試合をイメージしながら緊張感を持って練習を作っていくようにキャプテンとして頑張ります。

全国大会への意気込みを聞かせてください。

目標はこの先の春高バレーにあるので、自分たちのいいバレー、悔いの残らないバレーができるように頑張ります。

